

【地理総合面接プリント（第4回）】

はじめに

レポートの答えは、ほとんどが教科書・資料集にあります。分からないからと簡単にあきらめないで、しっかり読み、調べる習慣を身につけましょう。

☆本時のねらい

- 食文化に多様性が生じる理由について理解します。
- 工業立地について理解します。
- 商業の立地の違いについて理解します。
- 情報化社会における働き方について考えます。
- 環境問題の発生が、人間の活動によって引き起こされていることを理解します。
- 資源・エネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解します。
- エネルギー資源の種類について理解します。
- 再生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し、その種類を理解します。

【1】「食生活と農業の分布」について、次の問いに答えなさい。

(教科書P92～93, 資料集P138～139参照)

☆学習のポイント

- 自然環境の面から、食生活の地域差について理解します。

(1) 教科書P92～93からの出題です。気候などの地理的条件と人々の暮らしを関連づけて理解することは重要です。各地の特色について理解しましょう。

(2) 教科書P93のチェックB図8を見て、M社はどのような地域に進出しているといえるか、本文を参考に考えよう

(3) 教科書P93の図9の国ごとの土地生産性と労働生産性の図を見て、土地生産性が高い国から順に並べよう。国ごとに土地生産性と労働生産性は異なる。

[2018年]	オーストラリア	アメリカ	フランス	日本
農民一人あたり 耕地面積	94.0 ha	74.0	27.2	○ 1.8
農民一人あたり 穀物生産量	102.7t	206.1	92.8	□ 5.1
耕地1haあたり 穀物生産量	2035kg	8196	6829	6134
耕地1haあたり 肥料消費量	85.9kg	128.8	172.7	253.7

【2】「工業立地の変化」について、次の問いに答えなさい。

(教科書P96～99, 資料集P92～93参照)

☆学習のポイント

- 労働集約的な工業の立地が移動する理由を理解します。

(1) (2) 工業立地の特徴をP96～99で確認しましょう。

【3】「商業立地と人々の生活」について、次の問いに答えなさい。

(教科書P100～101, 資料集P102参照)

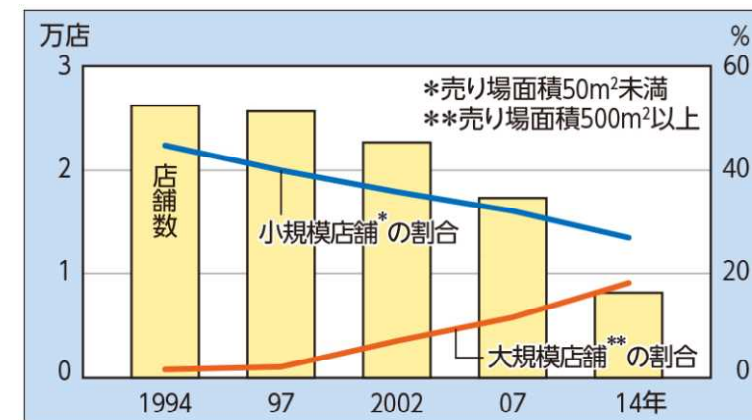
☆学習のポイント

- 商業の立地の違いについて理解する。

- インターネットの普及により、商業にどのような変化が生じたのかを理解する。

(1) (2) 教科書P100～101からの出題です。商業の立地の違いについて理解しましょう。

(3) 【論述問題】教科書P101の図9の書店の店舗数の変化の図見て、このグラフから読み取れることを説明しよう。



【4】「情報産業の発達と生活文化の変化」について、次の問いに答えなさい。

(教科書P102～103, 資料集P104参照)

☆学習のポイント

- 通信産業の発達による世界の変化、産業の情報化について理解する。

- 情報化社会における働き方について考える。

(1) 教科書P102～103からの出題です。情報産業の発達について理解しましょう。

(2) 【論述問題】教科書P103のチェックB「産業の情報化とはどのようなことをさすか」、本文から抜き出して『～こと』と言う文分で答えよう。

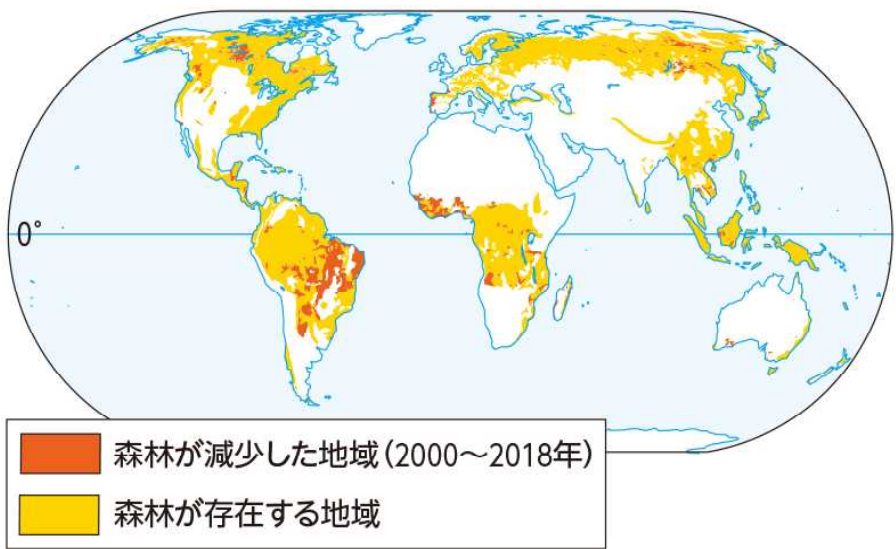
裏面に続く ➡

【5】「地球環境問題」について、次の問いに答えなさい。
(教科書P124～127, 資料集P68～71 参照)

☆学習のポイント

○地球環境問題の背景と影響を理解し、解決策を考察します。

- (1) 教科書P124～125からの出題です。生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考えます。
- (2) 教科書P126～127からの出題です。森林の減少や砂漠化の進行について理解します。森林の減少や砂漠化が人間の活動によって引き起こされていることを理解し、改善に向けた取り組みを考えます。
砂漠化の要因には気候変動のほか、人々の生活と関係の深いものもあります。P127を読んでおきましょう。
砂漠化はサヘルなどで深刻です。P125, 127をよく読んでおきましょう。



(3) 【資料を読み取ろう。】各期間で最も森林減少速度が速い地域を読み取ろう。

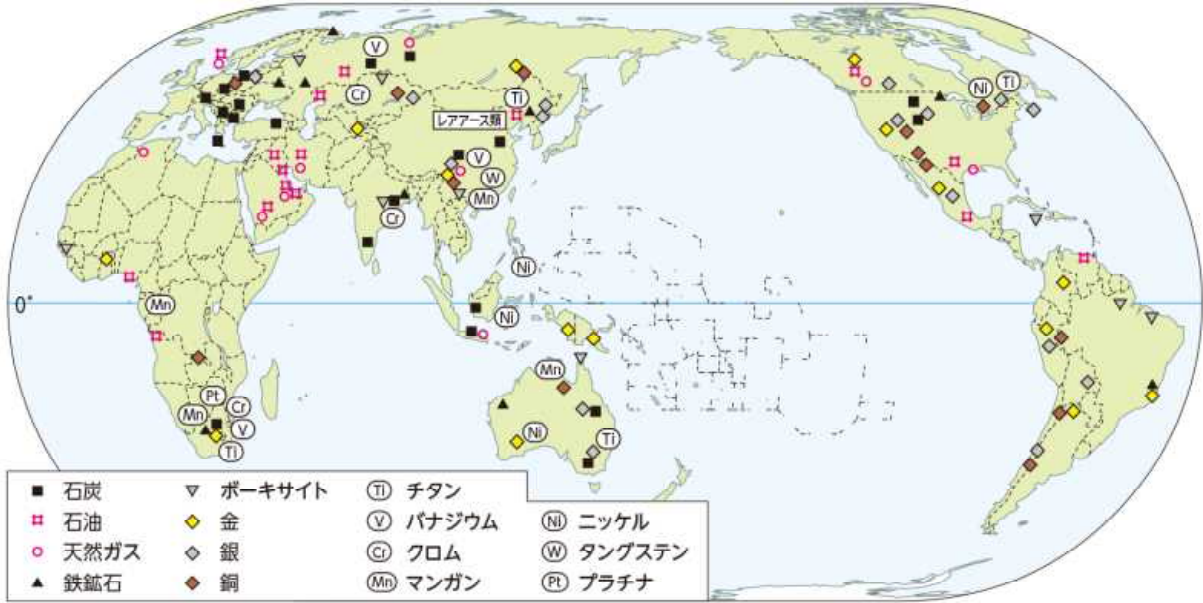
地 域	1990～2000年	2000～2010年	2010～2015年	2015～2020年
ア ジ ア	4, 170	2, 684	2, 925	2, 235
ヨーロッパ	88	92	201	69
アフリカ	4, 096	4, 314	4, 444	4, 414
北米・中米	972	699	418	436
南 米	5, 837	6, 667	3, 354	2, 953
オセアニア	655	662	458	42
世 界	15, 818	15, 117	11, 801	10, 150

森林は、熱帯林が熱帯林、亜寒帯林、温帯林の順に多い。

【6】「資源エネルギーの偏在」について、次の問いに答えなさい。
(教科書P130～131, 資料集P86～91 参照)

☆学習のポイント

- さまざまな資源・エネルギーの特徴を理解し、生産や消費のあり方を考える。
- (1) 教科書P130～131からの出題です。さまざまな資源・エネルギーの特徴を理解します。新興国のエネルギー需要の増加を理解し、資源をめぐる対立が生じる要因を考えます。



【7】化石燃料から再生可能なエネルギーへ」について、次の問いに答えなさい。
(教科書P132～133, 資料集P168 参照)

☆学習のポイント

- (1) (2) 教科書P132～133からの出題です。工業化によって石油・石炭などの化石燃料が大量に消費されたことは、地球温暖化の大きな要因となっています。P124を復習しましょう。
- (3) 教科書P133からの出題です。安定的に利用できる再生可能エネルギーの種類には地域差があります。P133を読み、日本で期待できる再生可能エネルギーについても復習しましょう。

○人口問題および居住・都市問題に関して，発展途上国と先進国とに分けて，問題が発生する背景や特徴を理解し，解決策を考察する。

○食料問題の地域的な特徴や問題が生じる背景について理解し，解決策を考察する。

○民族問題・難民問題の現状と背景を理解し，改善に向けてどのような取り組みが可能であるか検討する。

○地球規模で取り組むべき課題の内容や特徴を確認し，解決や改善に向けた取り組みを考える。